

**入場  
無料**

チケット不要



小津安二郎生誕120年  
三重連絡協議会

第9回

# 彼岸花映画祭 IN津

小津安二郎監督の最高傑作「東京物語」上映!!

2023年 9月23日(土) 開場:12時  
開演:12時30分

場所

三重大学 三翠ホール 【〒514-8507 津市栗真町屋町1577】

近鉄名古屋線「江戸橋駅」徒歩20分 三交バス停「三重大学病院前」徒歩10分  
※各自で感染対策を行ったうえ、公共交通機関の利用にご協力ください。



第1部

12:30 ~

## 「映像を彩る作曲者たち ~ベートーヴェン&久石譲、斎藤高順~」

演奏とお話：兼重直文（ピアノ）、吉鶴洋一（ヴィオラ）

プログラム

- ・ベートーヴェン：ピアソナタ第21番「フルトシュタイン」Op.53 より、「魔笛」より「恋を知る男たちは」の主題による7つの変奏曲 WoO46
- ・久石譲：千と千尋の神隠しより「いのちの名前」ほか
- ・斎藤高順：「東京物語」～主題曲と夜想曲～



兼重 直文

東京藝術大学卒、三重大学名誉教授、1995年「津市文化奨励賞」、2021年「三重県文化功労賞」受賞



吉鶴 洋一

三重大学教育学部卒、愛知県立芸術大学大学院修了、新日本フィルハーモニー交響楽団ヴィオラ奏者

第2部

14:15 ~

## 映画解説

(彼岸花映画祭事務局長 岩間知之)

第3部

14:30 ~

16:50

## 映画「東京物語 デジタル修復版」上映

(1953年、松竹モノクロ作品、135分)

監督：小津安二郎 脚本：野田高梧、小津安二郎 出演：原節子、笠智衆、東山千栄子、香川京子、杉村春子、山村聰

問い合わせ：彼岸花映画祭実行委員会事務局 Tel.090-3389-1454 E-mail : higanbana1958@gmail.com

主催：彼岸花映画祭実行委員会 共催：国立大学法人三重大学、津市、小津安二郎生誕120年三重連絡協議会

後援：三重県、松阪市、伊勢市、三重県教育委員会、中日新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、産経新聞社、読売新聞社、日本経済新聞社津支局、伊勢新聞社、共同通信津支局、時事通信社津支局、三重タイムズ社、三重ふるさと新聞、夕刊三重新聞社、NHK津放送局、三重テレビ放送、三重エフエム放送、株式会社ZTV、津文化協会

助成：公益財団法人岡三加藤文化振興財団、公益財団法人岡田文化財団

特別協賛：島田昌機・純子「彼岸花映画祭」基金 協力：松竹(株)、(株)キヒラ工房、高田短期大学

## 彼岸花映画祭と小津安二郎記念碑

2015年3月、津観音境内に映画監督・小津安二郎の記念碑が建立されたことを契機に、同年、彼岸花映画祭実行委員会が設立され、その後、毎年、津市及び三重大学の共催を得て、「彼岸花映画祭in津」が開催されています。記念碑建立には、今は亡き大林宣彦、高畑勲をはじめ、山本富士子、司葉子、山田洋次など著名映画人を含め県内外、海外から合計1040名余の協賛があり、その名前は句碑裏面に刻まれています。

(敬称略)



除幕時の田川敏夫代表と女優山本富士子さん

## 映画「東京物語」紹介

上映時間・135分 1953年 松竹大船作品

監督：小津安二郎、脚本：野田高梧、小津安二郎

撮影：厚田雄春、音楽：斎藤高順

年老いた親が成長した子どもたちを訪ねて親子の情愛を確認しあうという題材が、名匠小津監督の手にかかるとどうなるかを示す傑作。何気ない言動が教える各人の生活、思いがけない真情の吐露と発見、そして何事もなかったかのような人生の悲哀と深淵が見事に描かれている。公開からおよそ60年経った2012年、英国映画協会(BFI)が10年ごとに発表している「映画監督(357人)が選ぶ史上最高の映画」で、「東京物語」は第1位に選ばれた。

(松竹株式会社 Web サイトより)



東京物語 ©1953 松竹株式会社

### 会場ご案内

## 三重大学 三翠ホール



津市栗真町屋町1577 ※公共交通機関の利用にご協力ください

●近鉄「江戸橋駅」下車歩徒約20分 三交バス「大学病院前」下車 徒歩10分

